

胃がん術後地域連携パス (医療者用)

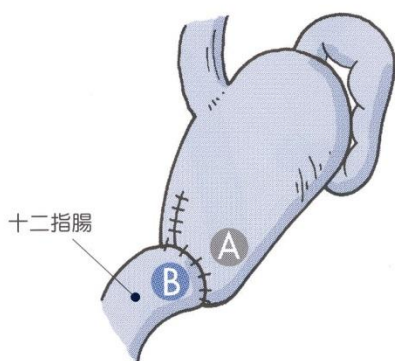
手術術式

手術の日 年 月 日

アプローチ：開腹・腹腔鏡・ロボット

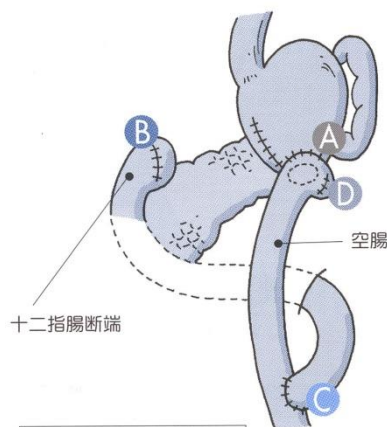
術式：部分切除・幽門輪温存・幽門側・噴門側・胃全摘

合併切除：なし・あり（ ）



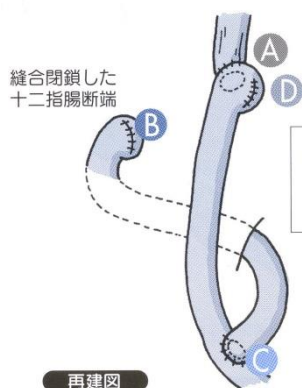
残胃と十二指腸をつなぎます。

ビルロートI法



残胃と空腸をつなぎます。
十二指腸の断端は閉じます。

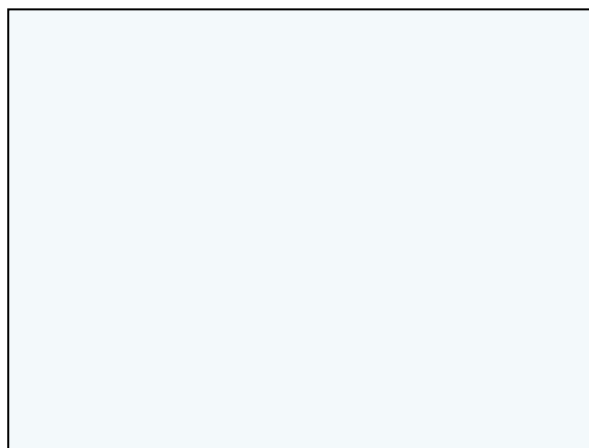
ルーワイ法



縫合閉鎖した
十二指腸断端

食道(A)に挙上した空腸(C)
をつなぎます。
十二指腸から続く空腸(B)は
挙上した空腸の側壁に
つなぎます(再建法の一例)。

再建図



胃がんの進行度

病理結果は？

肉眼型は Type

深達度

【T1a(M)・T1b(SM)・T2(MP)・T3(SS)・T4a(SE)・T4b(SI)】

リンパ節転移 (N0・N1・N2・N3)

組織型

【pap, tub1, tub2, por1, por2, sig, muc, その他 ()】

脈管侵襲

【ly(0, 1, 2, 3)】、【v(0, 1, 2, 3)】

がんの間質量 (med, int, sci)

浸潤増殖様式 INF (a, b, c)

進行度 ()

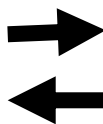
進行度分類

	N0	N1 (1~2個の転移)	N2 (3~6個の転移)	N3 (7個以上の転移)	T/Nにかかわらず 遠隔転移あり
T1a(M:粘膜がん)	I A	I B	II A	II B	IV
T1b(粘膜下層がん)					
T2(固有筋層)	I B	II A	II B	III A	
T3(漿膜下組織)	II A	II B	III A	III B	
T4a(漿膜をこえる)	II B	III A	III B	III C	
T4b(他臓器におよぶ)	III B	III B	III C	III C	

【様式1】

F A X送信票

がん地域連携パス運用開始《依頼》届(兼受入確認票)

兵庫県立がんセンター 地域医療連携担当者： _____ Tel: 078-929-1151 Fax: 078-926-5410 (直通)		連携医療機関(かかりつけ医) _____ Tel: Fax:
--	---	---

平素より大変お世話になりありがとうございます。

この度、下記の患者さんが手術を受けられ退院となりました。今後は以下のように、地域連携パスにて術後の経過観察をお願いしたいと存じます。詳細は担当医より報告させていただきます。

今後ともよろしく申し上げます。

機関名称	兵庫県立がんセンター 消化器外科 担当医師名 ()
患者氏名・ 患者番号	患者氏名 ()、患者番号 ()
診断名	胃がん術後
手術日	年 月 日

(かかりつけ医で御記入をお願いします。切り取らずにFaxしてください)

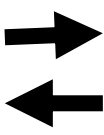
受入の可否	1. 受入可 ・ 2. 受入不可
かかりつけ医	医師名 ()
かかりつけ医の受診日	
ご担当いただける項目 (○印をお願いします)	1. 抗がん剤 2. CT 3. 胃内視鏡 4. 採血 5. 一般薬投薬 * 医療機関の役割分担については、患者さんと相談の上、 ご連絡いたします。

Fax 送信には細心の注意を払っておりますが、誤って送信されましたら下記まで連絡いただきますようお願いいたします。

兵庫県立がんセンター 地域医療連携部 Tel: 078-929-1151

【様式2】

F A X 送信票

<p>兵庫県立がんセンター 地域医療連携担当者： 担当医：</p> <p>_____</p> <p>Tel:078-929-1151 Fax:078-926-5410 (直通)</p>		<p>連携医療機関 (かかりつけ医)</p> <p>_____</p> <p>Tel: Fax:</p>
--	---	--

がん地域連携パス逸脱届

医療機関名称	
患者番号	
患者氏名	
パスの種類	胃がん術後パス
逸脱の理由	<input type="checkbox"/> 1. 再発・再燃・合併症等による治療方針変更 <input type="checkbox"/> 2. 転出(他県へ転出等) <input type="checkbox"/> 3. 患者本人・ご家族の希望 <input type="checkbox"/> 4. 死亡 <input type="checkbox"/> 5. その他
逸脱日	年 月 日

Fax 送信には細心の注意を払っておりますが、誤って送信されましたら下記まで連絡いただきますようお願いいたします。

兵庫県立がんセンター 地域医療連携部 Tel:078-929-1151

※ 地域連携パス診療経過報告書 (連携医→拠点病院)

報告日 年 月 日
共同診療開始日 年 月 日

<p>兵庫県立がんセンター 地域医療連携担当者： 担当医： _____様 Tel:078-929-1151 Fax:078-926-5410 (直通)</p>	<p>連携医療機関 (かかりつけ医) _____ Tel: Fax:</p>
<p>患者情報： 氏名：_____、性別 (_____) 生年月日 _____</p>	
<p><input type="checkbox"/>この度、連携診療しております_____様の検査結果を報告します。 _____の_____は 正常・(_____) でした。</p>	
<p><input type="checkbox"/>下記の通り共同診療計画に基づいた実施日と変更点について報告します。 共同診療計画に基づく診療の実施日 (_____ 年 _____ 月 _____ 日) 次回の予定共同診療計画に _____ (変更なし・変更あり) 変更となった項目：(診察、観察、検査、治療、薬剤、処置、ケア) 具体的な内容：</p>	
<p>その他の特記する事項</p> <p style="text-align: right;">画像・検査データ添付 (あり・なし)</p>	

がん地域連携パス・緊急予約依頼
F A X 送信票

兵庫県立がんセンター

地域医療連携担当者： _____ 様

Tel:078-929-1151

Fax:078-926-5410 (直通)

この度、がん地域連携パスを用いて共同診療しております

_____様に異常が認められました。

再発、合併症（腸閉塞・吻合部狭窄）、抗がん剤副作用、その他（ _____ ）で予約診察・緊急診察が必要と思われます。

よろしく申し上げます。

連携医療機関（かかりつけ医）

Tel:

Fax:

がんの地域連携パス 緊急時連携体制確認表

(各拠点病院でマニュアルを作成し連絡体制を再確認する)

対処方法と連絡先			
所見・症状	対処法 * 下記欄外をご参照下さい (直接ご記入も可)	連絡先・担当責任者名 (不在時の担当者名)	緊急連絡方法 (電話番号、Fax 番号) など
再発が疑われるとき	症状がないか、もしくは症状があるが差し迫った生命の危険はないと思われるとき	b.極力近い時点での拠点病院等の外来受診を指示し、外来の診察予約をとる。	078-929-1151 (代表)。地域連携室担当者。 必要時は当該科担当医、当該科オンコール医師、各科科長、担当部長の順。
治療による副作用が疑われるとき	症状がないか、症状があるが差し迫った生命の危険はないと思われるとき	b	以下、すべて同上
	差し迫った生命の危険があると思われるとき	c, d. 原則として電話連絡の後、即日拠点病院受診を指示。状況に応じて、連携病院(救急病院)受診を指示する(事前に患者家族と相談して決めておく)。	以下、すべて同上
その他合併症が疑われるとき	症状がないか、症状があるが差し迫った生命の危険はないと思われるとき	b	
	差し迫った生命の危険があると思われるとき	c, d.	
その他パスから逸脱したとき	たちまちには危険がないとき、今後の症状悪化が心配されるが、差し迫った生命の危険はないと思われるとき	b	
	差し迫った生命の危険があると思われるとき	c, d.	
*対処方法例： a. 2週間をめぐりに拠点病院等の外来受診を指示し、外来の診察予約をとる。 b. 極力近い時点での拠点病院等の外来受診を指示し、外来の診察予約をとる。 c. 電話連絡ののち、即日拠点病院受診を指示する。 d. 救急病院受診を指示する。 e. その他、ご自由に記入下さい			

不測の事態が発生した場合は、連携する全ての医療者が協力して解決に当たります。
緊急時、重篤症状で、連携医が対応困難な場合は、緊急対応表をご参照下さい。

かかりつけ医からの緊急相談における電話対応の具体例

この電話対応の具体例は、病院・診療所はじめ地域連携に関係する皆さんのために、診療所かかりつけ医からの緊急相談時の対応について、よくある普通のやり取りを例にあげて記載しておりますので、参考にいただければ幸いです。電話でのやり取りは簡単そうで案外難しく、とくに時間外や深夜には短い言葉で意思疎通を図ることからややもすれば言葉足らずになりかねず、時に言葉ひとつでお互いの感情を害することは絶対避けたいものです。地域連携を担う者同士、円滑な連携のために敬意を持って丁寧な会話を心がけていただきたくことを切にお願い致します。

ケース1：病院の通常診療中における対応（午前10時頃）

ケース2：病院の診療がほぼ終了し、診療所では午後診が続く時間帯における対応（午後6時頃）

ケース3：深夜、患者の様態が急変し、近隣での受け入れが困難で診療相談を受けた場合の対応

ケース1（午前10時頃）

病院（電話交換士）：

こちらは〇〇〇〇病院です。どのようなご用件でしょうか？

診療所：

こちらは〇〇市〇〇区の〇〇クリニックの院長〇〇です。がん地域連携パスを利用している患者さん、〇〇さんの件で、緊急に担当の方にご相談したいのですが。

病院（電話交換士）：

地域連携室の担当者におつなぎしますので、しばらくお待ち下さい。

病院（地域連携室）：

もしも、お待たせしました。地域連携室のMSWの〇〇（看護師の△△、事務の□□）と申します。いつも大変お世話になりありがとうございます。

診療所：

こちらこそお世話になっております、〇〇クリニックの〇〇です。お忙しいところ急な連絡で申し訳ないのですが、地域連携パスを利用されている〇〇さんが、今朝の3時頃から急な腹痛で嘔吐が続き、今朝10時頃当院に来られました。大腸がん術後のイレウスの疑いがあり、輸液を続けながら経過を見ましたが、状態が悪化しており、入院する必要があると判断し、近隣の連携病院に依頼をしましたが、あいにく対応困難とのことで困っております。診察をお願いできないでしょうか・・・。

病院：

わかりました。主治医に連絡を取り、折り返しご連絡いたします。念のため、医院の電話番号を教えてくださいませんか？

診療所：

電話番号は・・・です。よろしくお願いします。

.....

病院：

もしも、〇〇クリニックですか、こちらは〇〇病院地域連携室の〇〇と申します。先ほど貴院からご連絡を頂きました〇〇さんの件で、〇〇先生とお話したいのですが。

診療所：

はい、わかりました。院長と代わりますので、しばらくお待ち下さい。

.....

もしも、院長の〇〇です。

病院：

もしも、地域連携室MSWの〇〇です。〇〇さん担当の〇〇医師に変わります。

.....

もしも、担当の〇〇です。現在どのような状態でしょうか。

.....

以下続く

ケース2(時間外、午後6時頃)

病院(電話交換士)・・・この場合はケース1とほぼ同様の対応

病院(救急外来、電話交換士から救急外来)・・・救急外来の窓口で対応する場合でも、がん地域連携パスを利用している患者さんであることを伝えることによって、それなりの対応をお願いします。

病院(保安員など)・・・保安員などに対して、診療相談への対応の研修が十分に行われていない病院あり。以下、このケースについて記載します

病院(保安員)

こちらは〇〇〇〇病院です。どのようなご用件でしょうか。

診療所:

こちらは〇〇市〇〇区の〇〇クリニックの院長〇〇です。がん地域連携パスを利用している患者さん、〇〇さんの件で、緊急に担当の方にご相談したいのですが。

病院(保安員):

わかりました。当直におつなぎします。

病院(保安員)

もしも、〇〇クリニックの〇〇先生から、がん地域連携パスを利用している患者の〇〇さんの件で、緊急相談の電話が入っています。

病院(緊急対応担当の、当直医師または当直看護師)

わかりました。代わります。

.....

もしも、当直医師(看護師)の〇〇です。日頃お世話になっております。どのような状況でしょうか。

診療所:

こちらこそお世話になっております、〇〇クリニックの〇〇です。時間外に申し訳ないのですが、地域連携パスを利用されている〇〇さんの件でお願いしたいのです。今朝の3時頃から急な腹痛で嘔吐が続き、10時頃当院に来られました。大腸がん術後のイレウスの疑いがあり、輸液を続けながら経過を見ておりましたが、状態が改善せず、入院する必要があると判断し、近隣の連携病院に依頼をしましたが、あいにく対応困難とのことで困っております。患者さんも希望されているのですが、診察をお願いできないでしょうか.....

病院:

わかりました。主治医に連絡を取り、折り返しご連絡いたします。念のため、そちらの電話番号を教えてくださいませんか?

診療所:

番号は.....です。

.....

病院:

もしも、〇〇クリニックですか、こちらは〇〇〇〇病院地域連携室の〇〇と申します。先ほどそちらの〇〇先生からご連絡をいただいたのですが.....

診療所:

はい、わかりました。院長と代わりますので、しばらくお待ち下さい。

.....

もしも、院長の〇〇です。

病院:

〇〇さん担当医師の〇〇です(担当医不在のため、代わりに〇〇が対応させていただきます)。お世話になっております。診察させていただきます。夜間受付でお名前を言って下さればわかるように連絡しておきます。到着は何時頃になりますか。

診療所:

ありがとうございます。助かります。なるべく早く午後7時頃には行けると思っています。

.....以後続く

ケース3(深夜、午後11時頃)

病院(保安員)

こちらは〇〇〇〇病院です。どのようなご用件でしょうか。

診療所:

こちらは〇〇市〇〇区の〇〇クリニックの院長〇〇です。こんな時間に申し訳ないですが、がん地域連携パスを利用している患者さんの件で、緊急にご相談したいのですが。

病院(保安員):

わかりました。当直におつなぎします。

病院(保安員)

もしも、〇〇クリニックの〇〇先生から、がん地域連携パスを利用している患者さんの件で、ご相談があると電話が入っています。

病院(当直医師または当直看護師)

わかりました。代わります。

.....

もしも、当直医師(看護師)の〇〇です。日頃お世話になっております。どのような状況でしょうか。

診療所:

こちらこそお世話になっております、〇〇クリニックの〇〇です。こんな時間に大変申し訳ないのですが、がん地域連携パスを利用されている〇〇さんの件でお願いしたいのです。今朝の3時頃から急な腹痛で嘔吐が続き、10時頃当院に来られました。大腸がん術後のイレウスの疑いがあり、輸液や浣腸で症状が軽快したため一旦帰宅し明日再診の予定でしたが、先ほど患者さんから電話があり、状態が改善せず非常に苦しいそうです。そちらの病院で診てもらえないかとの相談を受けました。とても苦しくて朝までまてないとのことで、近隣の連携病院にも入院依頼をしましたが、受け入れ困難とのことで困っております。何とか診察をお願いできないでしょうか.....

病院:

わかりました。担当医に連絡を取り、折り返しご連絡いたします。念のために連絡先の電話番号を教えてくださいませんか?

診療所:

電話番号は.....です。

.....

病院:

もしも、〇〇先生ですか、先ほど電話を頂いた〇〇〇〇病院の〇〇です。担当の〇〇に連絡済みですので、どうぞすぐに来て下さい。夜間受付でお名前を言って下さればわかるように連絡しておきます。到着は何時ごろになりますか。

診療所:

ありがとうございます。助かります。なるべく早く、午後12時頃には行けるとお思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

.....以後続く

以上